

## 新年度のスタートにあたって

校長 大澤 貢

いよいよ令和4年度がスタートしました。1年生328人、2年生307人、3年生315人の950人で迎えた新年度です。生徒の皆さんは、それぞれこの1年間をどのように過ごそうかと考えていることと思います。

### ◎ありきたりですが…

**1年生**は小・中学校9年間の義務教育を終え、入試を経て高等学校に入学しました。学校生活や通学など、まだ慣れないことも多いと思いますが、合格発表を見た時の喜びを忘れることなく、何事にも前向きに取り組む努力をしてください。

**2年生**は、昨年度の経験を踏まえて、自分の強みを伸ばし、弱みを克服する努力をしてください。

**3年生**は、高校生活最後の1年です。悔いのないように過ごして欲しいと思います。そして、卒業後の進路を思い描き、実現できるよう努力を続けてください。

### ◎よく言われることですが…

人との出会いを大切にしましょう。

高等学校は、中学校までとは異なり通学範囲が広く、遠方から通っている生徒も多くいます。通学方法も自転車、鉄道、バスなど様々です。本校に入学しなければめぐり逢わなかった人同士が偶然、浜松湖北高校を希望し、同級生となったり、先輩・後輩となったりしているのです。同じ学校の仲間となったのも何かの縁です。この縁を大切にしたいと思います。そして、良き友人を沢山つくってください。きっと一生の宝となるでしょう。

### ◎有意義に過ごせと言われますが…

“時間”は誰にでも平等に与えられています。物理的には、誰にとっても1時間は1時間であり、1年は1年なのです。

しかし、不思議なことに年齢を重ねるごとに、時間の進み方が速く感じられるのです。もちろん、感覚的な事ですが、子どもの頃は1年がとても長く感じられました。ところが、その1年が今ではあっという間に過ぎ去ってしまいます。「光陰矢の如し」とはよく言ったものです。

誰にでも平等な“時間”、その使い方は人それぞれで異なります。高校生として過ごす時間を、将来的に価値あるものにできるかどうかは、自分自身に掛かっているのです。無駄にしないようにしましょう。

### ◎将来の予測が難しい時代と言われますが…

社会情勢の急激な変化や突発的な自然災害などの発生は、事前に予測することが難しいものです。また、産業分野での技術革新には、目を見張るものがあります。

コンピューターや情報通信技術など、科学技術の発達によって、これまでは空想の中での出来事だったことが、私たちの生活に現実として根付きつつあります。そして、コンピューター技術を基にした新たな技術の開発は、より一層加速度を増しながら進展していくと思われまます。

そのような中では、一度身に付けた知識や技術であっても、そのままでは恒久的に使うことができない事が多くなります。

しかし、時代が変遷しても、基礎的・基本的な知識や技術を身に付けることは変わらず大切ですが、今後必要な事は、それらを基に応用したり、発想を形にしたりする力を持つことなのです。

浜松湖北高校での学びを通して、これらの力を高めてください。

**生徒諸君の成長を期待しています！**

## 教務主任より

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、突然の全国一斉休校を余儀なくされてから丸2年が経ちました。昨年度も時差登校、行事の中止や縮小、部活動の試合中止や延期などを経験し、アフターコロナはほど遠く、まだまだウィズコロナを感じさせられる日々でした。そして、丸2年経った本年度スタートの朝、久しぶりに“通常”の登校風景を見ることができ、嬉しく思います。まだまだ感染対策を施しながらの学校生活が続きますが、積極的に学校生活を送って欲しいです。

この2年、今まで当たり前だと思っていたことが通用しなくなった（できなくなった）とき、どのように行動すれば良いのか、考えさせられる場面が多くありました。現状に不満を述べていても始まらない、前を向いて考えていかなければならない。何ができるのか、どうすれば良いのか。受け身ではなく、それぞれの立場で考え、行動している場面に遭遇すると、改めて考える力の重要性を感じます。変化に柔軟に対応する力、今ある状況下で最善を尽くす姿勢など、常に考えて行動することが求められる世の中になっています。

世の中は常に変化し続けており、その変化は激しいという言葉に尽きます。だからこそ、湖北高校でのひとつひとつの学びが、どのような時でも通用する力の礎になってくれることを願います。

さて、進路関係で聞いた話を二つ紹介します。

人は、興味があることと、興味がないことがあれば、興味のあることに目が向く。

また、自分ができることと、できないことがあれば、できることに目が向く。

しかし、興味があることと、自分ができることだけを見ているのは、実はもったいない。

だから、少しでも興味のあることを増やし、できることを広げていくことで、選択する幅が広がる。

現状を1(100%)としたとき、1%(1.01)の努力を1年間続けると、37.8という数値になる。

逆に1%怠けた(99%)場合、1年で0.03の数値となり、ほとんど変化は見られない。

では、1%を時間換算するとどうなるのか。それは、1日あたり約15分という結果になる。

この1%(約15分)の努力ができれば、自分の可能性はもっと広がる。

この二つを聞いて、どのようなことを考えたでしょうか。興味のあることを増やすためには、さまざまなことに目を向けていき、行動を起こさなければなりません。約15分なら努力できるかもしれないと感じたなら、行動を起こし、継続していかなければなりません。どちらにしても、行動を起こすことの重要性があるのではないのでしょうか。簡単そうに見えて、実はなかなか難しい。だからこそ、実現できたときには、自分自身に大きなプラスとなって戻ってきます。

学校で学ぶことは、教科の勉強だけではありません。自分自身と向き合い、さまざまなことを考えてください。そして、自分自身を高めるために、行動を起こせる1年にしてください。

校歌のワンフレーズにある 「知恵を分け合い ともに高めあう」

そのような湖北生ひとりひとりであって欲しいし、湖北高校という場所であり続けますように。

### ◎1学期の行事予定

**5月** 6日(金)生徒総会 14日(土)授業公開日 17日(火)～19日(木)中間テスト

**6月** 3日(金)文化祭校内発表 24日(金)生徒会立会演説会

**7月** 1日(金)～6日(水)期末テスト 21日(木)終業式